

国の信用を守り、
希望ある社会を次世代に引き継ぐ

財務省・税関における取組状況

令和6年3月12日
財務省関税局



不正薬物の摘発実績

種類	年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	前年比
覚醒剤	件	425	72	95	301	296	98%
	kg	2,587	811	1,014	665	1,978	297%
大麻	件	242	204	199	138	132	96%
	kg	82	126	153	473	142	30%
大麻草	件	110	86	94	57	76	133%
	kg	61	49	22	315	74	23%
大麻樹脂等	件	132	118	105	81	56	69%
	kg	21	76	132	157	68	43%
あへん	件	-	-	1	-	-	-
	kg	-	-	4	-	-	-
麻薬	件	209	167	233	237	234	99%
	kg	656	822	61	188	276	147%
	千錠	61	90	133	82	36	45%
ヘロイン	件	5	2	-	-	-	-
	kg	17	0	-	-	-	-
コカイン	件	52	27	34	28	67	239%
	kg	638	820	14	49	103	212%
MDMA等	件	67	74	81	98	60	61%
	kg	0	2	30	94	109	117%
	千錠	61	90	130	81	36	45%
その他麻薬	件	85	64	118	111	107	96%
	kg	0	1	16	46	63	138%
	千錠	0	0	3	0	0	20%
向精神薬	件	6	2	6	16	10	63%
	kg	-	-	0	0	0	1%
	千錠	0	1	1	2	1	34%
指定薬物	件	165	300	302	354	143	40%
	kg	14	169	19	19	11	55%
合計	件	1,047	745	836	1,046	815	78%
	kg	3,339	1,928	1,251	1,346	2,406	179%
	千錠	61	91	134	84	37	44%
(参考) 使用回数	万回	10,957	5,530	3,577	2,608	7,024	269%

- (注) 1. 税関が摘発した密輸入事件の他、警察等他機関が摘発した事件で、税関が当該事件に関与したものを含む。
 2. 端数処理のため数字が合わないことがある。
 3. 数量の表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。
 4. 令和5年の数値は速報値である。

令和5年の不正薬物のトピックス

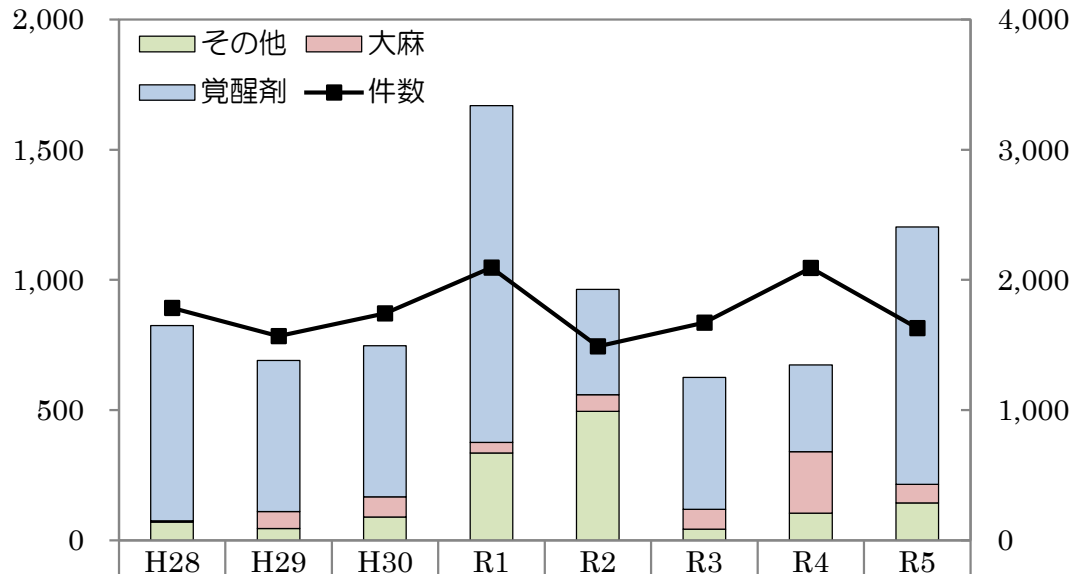
不正薬物の押収量が2トン超え

令和5年の不正薬物全体の押収量は8年連続で1トンを超え、うち覚醒剤の押収量は1,978kg（前年比約3倍）と前年より増加。

航空機旅客からの不正薬物の摘発件数が増加

令和5年の航空機旅客からの不正薬物全体の摘発件数は262件（前年比約2.8倍）と前年より増加。

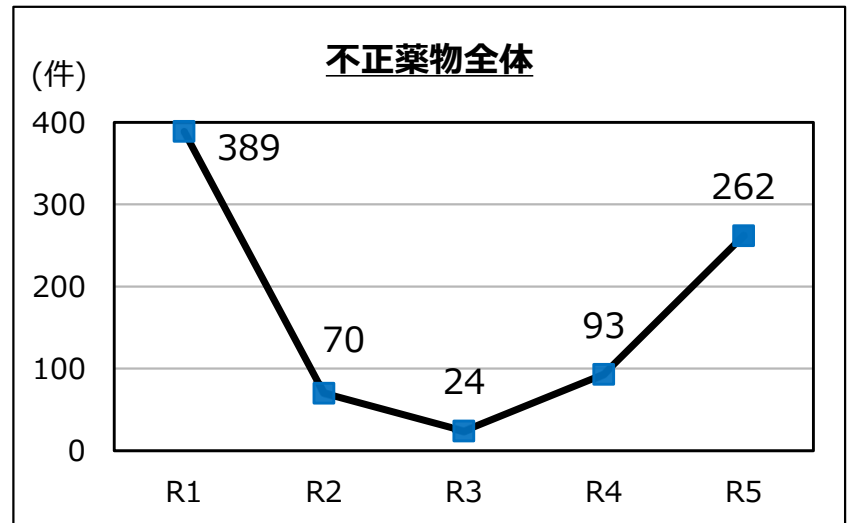
(摘発件数：件) 不正薬物の摘発件数と押収量の推移 (押収量：kg)



覚醒剤	1,501	1,159	1,159	2,587	811	1,014	665	1,978
大麻	9	131	156	82	126	153	473	142
その他	140	90	178	670	991	84	208	287
合計	1,650	1,380	1,493	3,339	1,928	1,251	1,346	2,406
件数	892	784	871	1,047	745	836	1,046	815
うち覚醒剤	104	151	169	425	72	95	301	296

(注) その他とは、あへん、麻薬（ヘロイン、コカイン、MDMA等）向精神薬及び指定薬物をいう。
令和5年の数値は速報値。

航空機旅客からの摘発件数の推移（令和5年）



【摘発事例1】

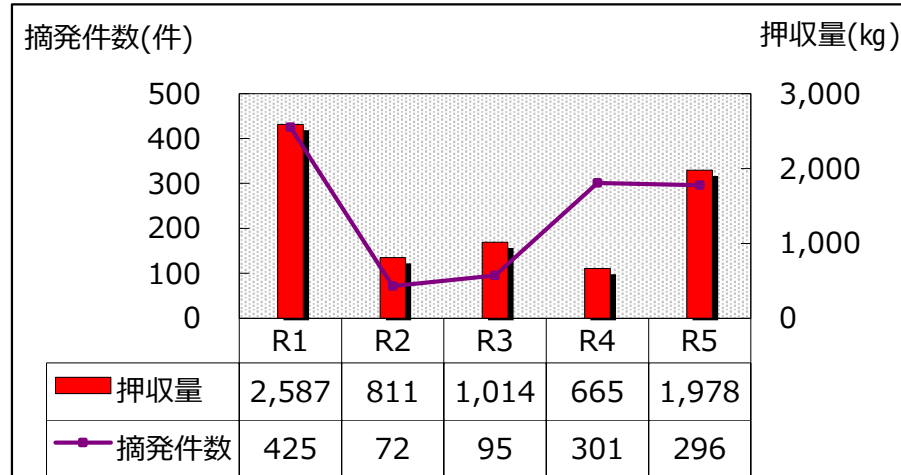
カナダから成田国際空港に到着した旅客の携帯品（スーツケース）に隠匿された覚醒剤約24kgを摘発した。（令和5年7月・東京税関）



覚醒剤、大麻、麻薬及び指定薬物の摘発実績

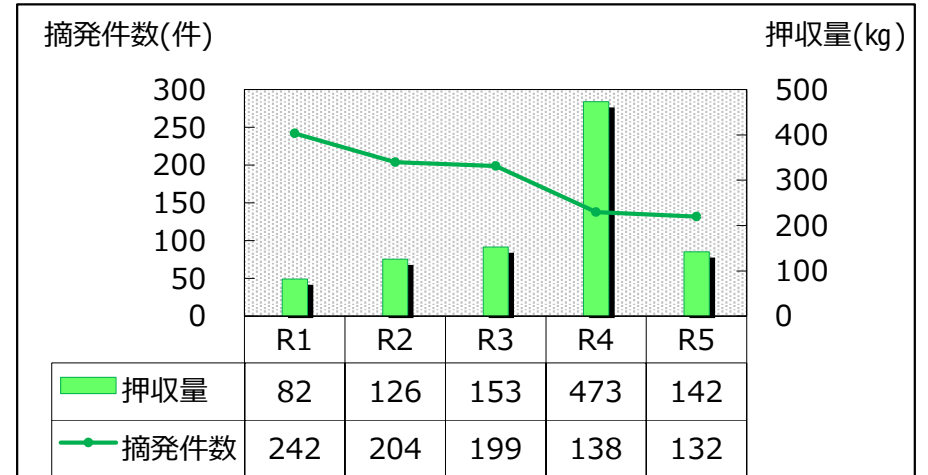
【覚醒剤】

☆ 令和5年の摘発件数は296件（前年比2%減）、押収量は約1,978kg（前年比約3倍）と、件数は減少するも押収量は増加



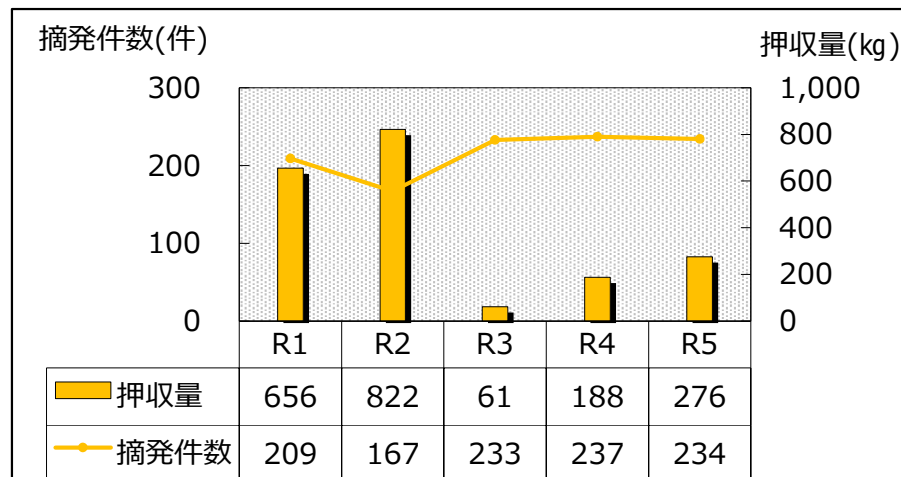
【大麻】

☆ 令和5年の摘発件数は132件（前年比4%減）、押収量は約142kg（前年比約70%減）と、件数・押収量ともに減少



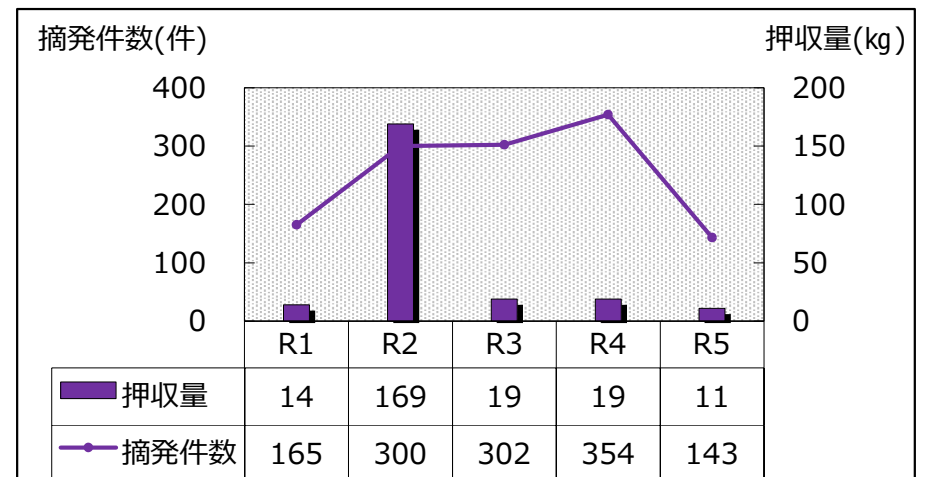
【麻薬】

☆ 令和5年の摘発件数は234件（前年比1%減）、押収量は約276kg（前年比47%増）と、件数は減少するも押収量は増加

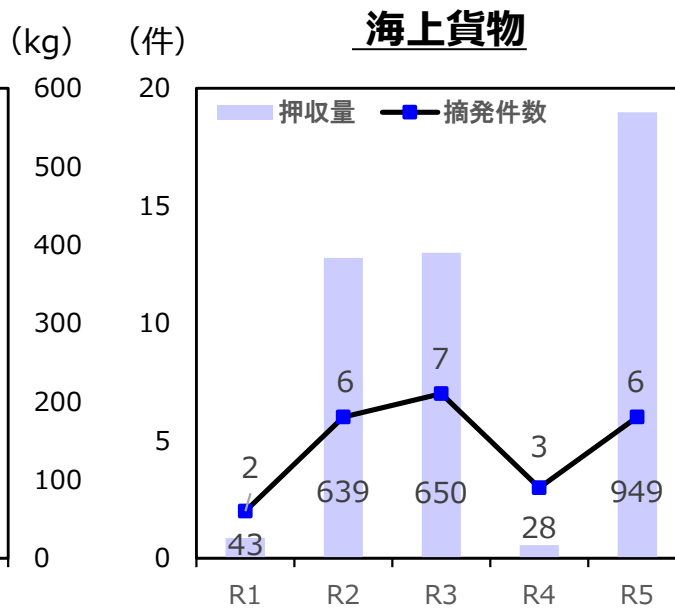
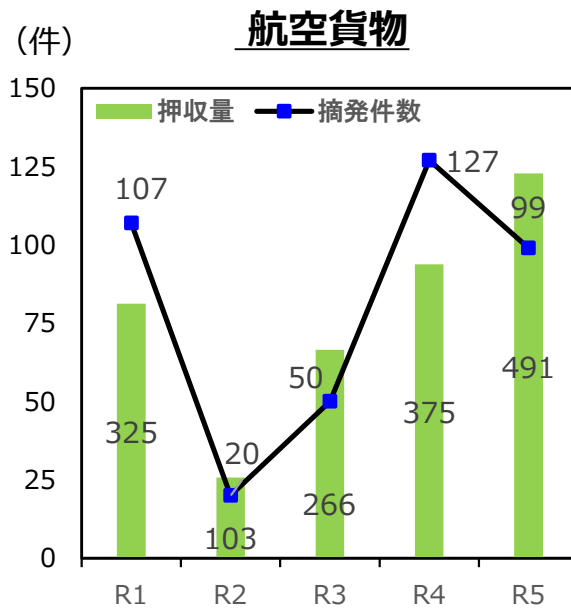
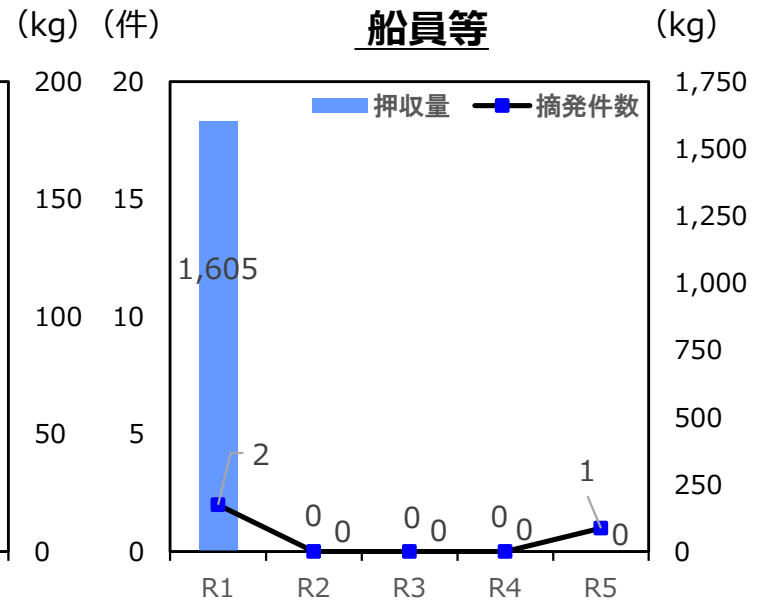
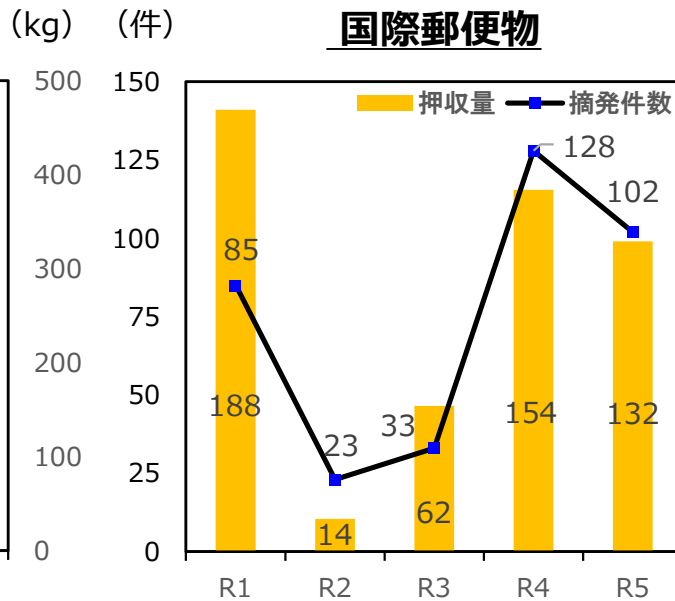
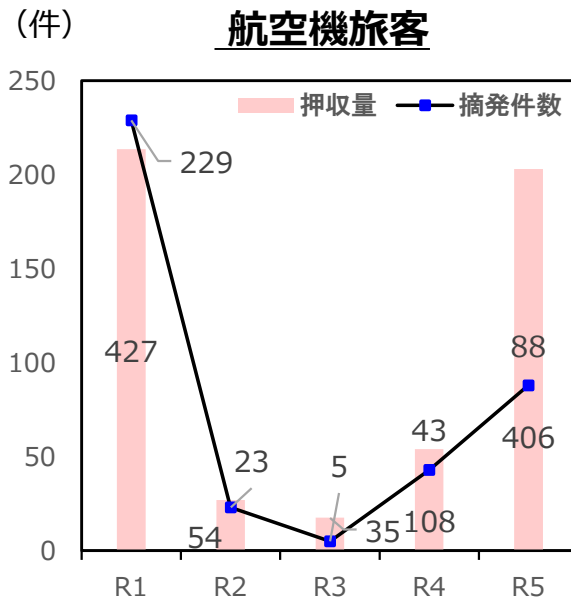


【指定薬物】

☆ 令和5年の摘発件数は143件（前年比60%減）、押収量は約11kg（前年比45%減）と、件数・押収量ともに減少



覚醒剤の密輸形態別摘発実績

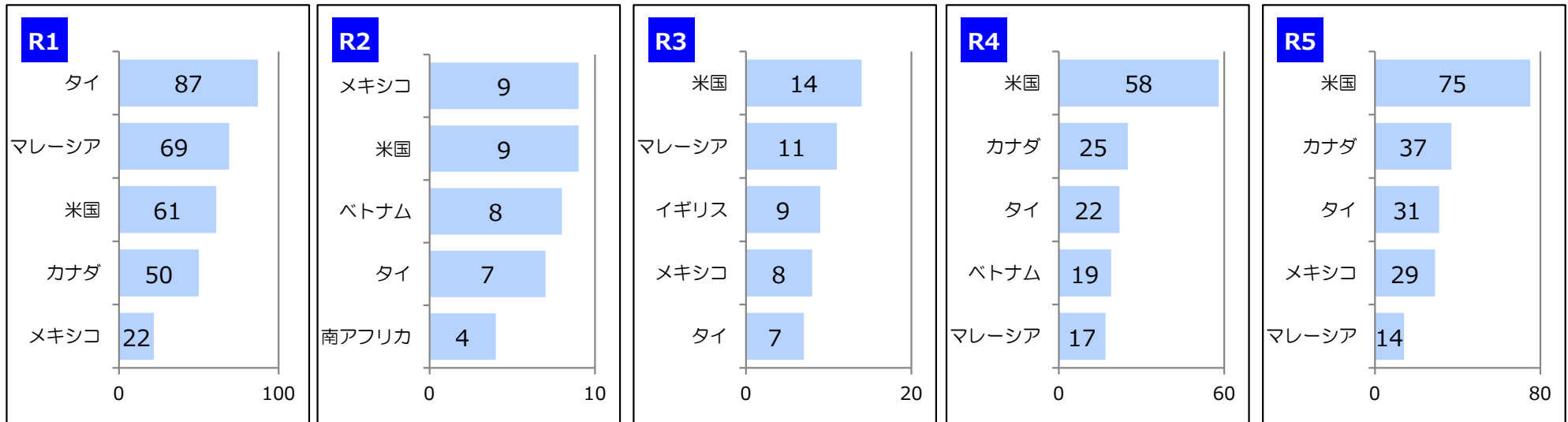


(注)
 航空機旅客には、航空機乗組員を含み、船員等には、洋上取引、船舶旅客等を含む。
 航空貨物には、航空での別送品を含み、海上貨物には、海上での別送品を含む。

覚醒剤の密輸仕出地別摘発実績

仕出地別摘発件数の推移（上位5ヶ国）

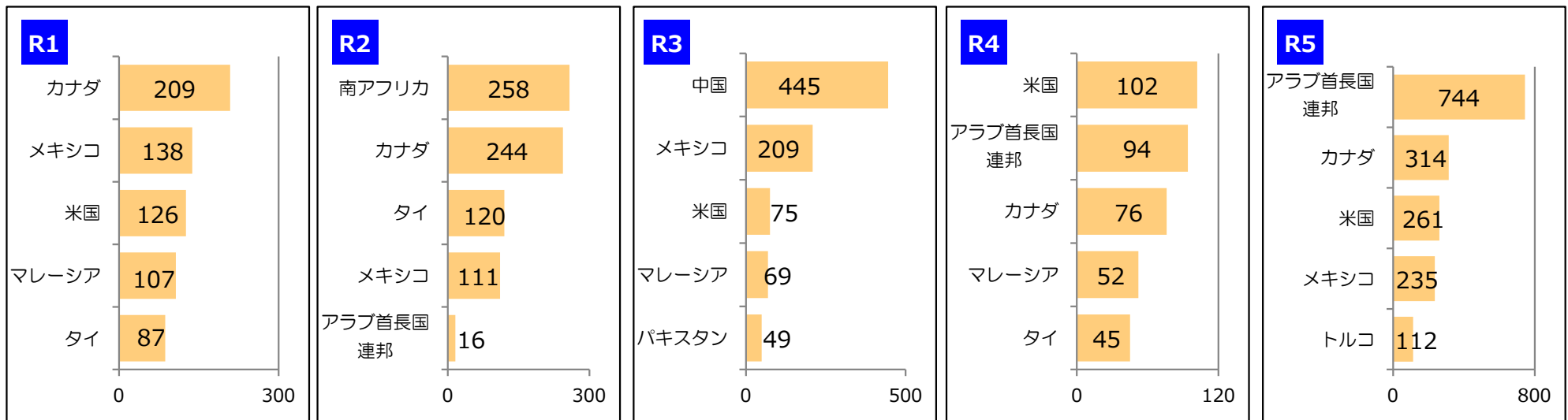
（摘発件数:件）



（注） 第5位が複数の場合は、押収量が最も多い国・地域を記載

仕出地別押収量の推移（上位5ヶ国）

（押収量:kg）



（注1） 端数処理の結果、同数である場合は、実数で比較 （注2） 仕出地域判明分のみで作成 （注3） 中国には香港・マカオを含む。

令和5年の不正薬物の主な摘発事例

【摘発事例2】海上貨物

《海上貨物で過去最高の覚醒剤押収量》

アラブ首長国連邦から到着した海上貨物（PVCボード）に隠匿された**覚醒剤約704kg**を摘発した。

（令和5年3月・東京税関）



【摘発事例3】航空機旅客

カナダから成田国際空港に到着した旅客の携帯品（スーツケース）に隠匿された**大麻草約24kg**を摘発した。

（令和5年9月・東京税関）



【摘発事例4】航空貨物

《航空貨物で過去最高の覚醒剤押収量》

メキシコから到着した航空貨物（研磨機）に隠匿された**覚醒剤約113kg**を摘発した。

（令和5年9月・大阪税関等）



【摘発事例5】国際郵便物

アメリカから到着した国際郵便物（ボードゲームの箱）に隠匿された**覚醒剤約2.9kg**を摘発した。

（令和5年3月・名古屋税関）



啓発活動

○薬物乱用防止教室・税関見学受け入れ

小中高等学校への出張授業や税関見学時に、税関の役割や業務、薬物乱用防止について説明を実施



○リーフレット・ポスター

キャンペーン実施時には、リーフレットを配布し、不正薬物の密輸防止について注意喚起を実施



○SNSの活用

税関X（旧Twitter）、FacebookなどのSNSを活用し、各税関での薬物摘発情報などを積極的に発信。

カスタム君
@Custom_kun

【密輸事件】#横浜税関 は、国際宅配貨物及び国際スピード郵便を利用して、フランス共和国から合計約3.2キロのMDMAを密輸入しようとした犯則嫌疑者を、宇都宮地方検察庁に告発したワ！違法薬物の密輸はボク達が阻止するワ！
#薬物 #密輸 #麻薬 #MDMA
[customs.go.jp/kyotsu/hodo/ji...](https://www.customs.go.jp/kyotsu/hodo/ji...)

税関
1月30日 · 🌐

【密輸事件】 門司税関福岡空港税関支署は、フィリピン共和国から大麻を密輸入しようとした男性を関税法違反で福岡地方検察庁に告発しました。安全安心な社会を実現するため、これからも水際での密輸阻止に向けて全力で取り組んでまいります。詳細はこちら。

<http://www.customs.go.jp/kyotsu/hodo/jikenhodo/2024jiken/jiken2024.htm#moji20240129>
#門司税関 #税関 #大麻 #密輸

WCOアジア・大洋州地域情報連絡事務所（RILO・AP）

概要

- RILO（Regional Intelligence Liaison Office）
 - ・ 密輸情報交換の促進のための世界税関機構（WCO）の地域組織であり、世界に12箇所。
 - ・ 日々の情報交換の他、地域レベル、全世界レベルの密輸取締り強化策を企画・実施。
- 2024年1月からアジア・大洋州地域のRILOを日本がホスト（2023年末まで韓国ホスト）。

期待される効果

- RILO・APの日本ホストにより、
 - ・ 関係国・地域間の情報の拠点（ハブ）となり、情報収集ネットワークの強化
 - ・ 迅速な情報提供や情報分析を通じ、日本を含む地域の効果的な密輸の取締りを実現
 - ・ 税関のインテリジェンス分野における日本のプレゼンスの向上といった効果が期待でき、効果的・効率的な取締りが可能となる。

今後の取組

- 情報の拠点（ハブ）として機能すべく、WCO及びAP地域の税関当局との関係強化、税関分野における国際協力の推進に引き続き取り組む。

ご清聴ありがとうございました。

